

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

大久保通り－2

平野 武宏



道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環七通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」、「中野通り」、「平和橋通り」と歩いてきました。

今回は「大久保通り」を歩いています。大久保通りは新宿区下宮比町の飯田橋交差点を起点に、杉並区高円寺南の環七通りの大久保入口交差点に至る延長約9kmの道です。写真右上は大久保通りの道路名標識（都道433号線）です。

前回は起点から総務省統計局まで歩きました。

今回は総務省統計局から終点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[総務省統計局] 新宿区新宿七丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 若松河田駅

写真下左は総務省統計局、写真下右は戸山ハイツと戸山公園入口です。この辺りは江戸時代までは尾張徳川家の下屋敷、明治に入り陸軍施設、戦後は都営住宅の戸山ハイツと戸山公園（1954年開園）となりました。



[大久保二丁目交差点] 新宿区大久保二丁目

最寄駅 東京メトロ副都心線 東新宿駅

大久保二丁目交差点（写真下右）で明治通り（都道 305 号線）と交差します。左へ行くと新宿方面、右へ行くと池袋方面です。大久保通りは直進します。



大久保通りの両サイドにハングル文字のお店が目立ち始めます。新大久保は 코리아タウンとして賑わっています。



[新大久保駅前交差点] 新宿区百人町一丁目



前方はJR山手線の新大久保駅のガードです。左が新宿駅方面、右が高田馬場駅方面です。ガードをくぐると左側に皆中稲荷神社の鳥居があります。

[皆中稲荷神社] 新宿区百人町一丁目 最寄駅 JR 新大久保駅

写真下左は皆中稲荷神社の鳥居、中に入ると社殿（写真下右）があります。江戸時代にこの一帯には幕府鉄砲組百人隊が屋敷を与えられ、通常は交代で江戸城大手三之門を警備、また将軍の寛永寺・増上寺・日光東照宮参詣には護衛をしたそうです。皆中神社の例大祭（隔年）にはその出陣式が再現され、隊列行進、数か所で古式にのっとり試射が行われます。皆中稲荷の起源はある隊士が稲荷の霊夢により百発百中の腕前になったことと伝わります。「みなあたる」から賭け事でご利益をと日参する人も多いようです。

寅さん歩 104 江戸・東京の祭—33（江戸らしい祭—16）及び寅さん歩 45 健康ご利益めぐり—9 新宿区—2 をご覧ください。



写真下左は社殿前の鳥居です。JR中央線 大久保駅のガードをくぐります。



[北新宿一丁目交差点] 新宿区北新宿一丁目

最寄駅 JR中央線 大久保駅

北新宿一丁目交差点（写真下右）で小滝橋通りと交差します。左へ行くと新宿西口方面、右へ行くと小滝橋方面です。



[末広橋] 新宿区北新宿三丁目

最寄駅 JR中央線 東中野駅



北新宿三丁目交差点の先は「神田川」（写真上左）にかかる「末広橋」（写真上右）です。神田川が区境で中野区に入ります。

[宮下交差点] 中野区中央一丁目 最寄駅 JR中央線 東中野駅

宮下交差点（写真下右）で山手通り（都道 317 号線）と交差します。左へ行くと初台方面、右へ行くと中落合方面です。



[桃園川緑道]

杉並区・中野区を流れていた桃園川を暗渠にして、大久保通りに並行した緑道がありました（写真下左右）。少し歩いて大久保通りに戻りました。



[紅葉山公園下交差点] 中野区中央三丁目

最寄駅 JR中央線 中野駅

大久保通りを進み、紅葉山公園下交差点（写真下）を通過します。



右側がもみじ山道で東京百年記念事業で1970年（昭和45年）3月開園の「紅葉山公園」があります。隣接して「もみじ山文化センター（中野ゼロ）」の施設があります。

[中野五差路交差点] 中野区中央四丁目

最寄駅 JR中央線 中野駅

中野五差路交差点（写真下右）で中野通（都道420号線）と交差します。左へ行くと笹塚方面、右へ行くと中野駅方面です。大久保通り（都道433号線）は道なりに直進します。



[宮園橋] 中野区中央五丁目

最寄駅 JR中央線 中野駅

宮園橋は桃園川にかかっていたようですね。現在は桃園川緑道になっています。



大久保通りは杉並区に入ります。

[田中稲荷神社] 杉並区高円寺南一丁目

最寄駅 JR中央線 高円寺駅

右側に鳥居があり、中に入ると説明板がありました。田中稲荷神社で、「受持神」を祭神とした旧高円寺村の農業の神で、高円寺天祖神社の境外末社です。創建などの由来は不詳ですが、桃園川沿いに広がった水田の中にあったことから、田中稲荷の名で呼ばれるようになったといいわれています。以前は初午で村の家々では赤飯を焚いておむすびを作り、神棚に備えて豊作を祈願しました。



現在でも「稲荷講」として1ヶ月遅れの初午の日に近くの商店や町会の人々によって続けられています。稲荷前の道は「堀之内新道」で熱心な信者の関口兵藏が私財を投じて作った堀之内妙法寺につながる道だそうです。

[環七大久保通り入口] 杉並区高円寺南一丁目

最寄駅 JR中央線 高円寺駅

環七通りにある環七大久保通り入口交差点（写真下右）が大久保通りの終点です。



写真下左は終点を表す大久保通りの標識です。右折すると右側に桃園川緑道の出口（写真下右）がありました。



これにて大久保通りを起点から終点まで歩きました。はじめて起点から終点まで通して歩いた道なのでいろいろ学びました。桃園川緑道は花の時期に歩いてみたい道です。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩 379 令和3年10月から掲載済です。

今回は宿場などを紹介しながらゆっくりと歩きます。現在やこれから東海五十三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。連絡を取り合って、どこかの宿でバーチャル宴会をしたいですね。皆様の旅の進度のご連絡をお待ちしています。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年10月9日吉原宿（現在の静岡県富士市）（江戸日本橋から136km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。

写真下は「吉原 左富士」です。静岡県近辺を進んで行くと富士山が右に見えます。街道が蛇行すると時に左手に来ることがあります。その様を左富士と呼びます。馬上には3人の子供が仲良く揺られています。

街道沿いに左富士神社があり、その向かいの酒店で清酒「左富士」が売られて

いました。東海道の左富士は神奈川県茅ヶ崎市鳥井戸橋にもあります。



毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝